

第63回兵庫県高等学校総合体育大会バレーボール競技 競技運営申し合わせ事項（2019/5/16）

【総務関係】

- 各チームの監督及び引率責任者の方はチームの選手のマナーについて責任をもって指導してください。試合中の選手のマナー、試合以外での大会期間中すべての選手の行動に関して監督及び引率責任者の方は責任をもって指導してください。
- 各会場へのバス・自動車の乗り入れについては、県高体連HPを参照し、指示に従って下さい。**乗り入れる車には、必ずチーム名を書いた紙を運転席に置いて下さい。**路上駐車等、会場校に迷惑がかからないようチーム関係者に徹底してください。
- 試合会場でのゴミは責任をもってチームで持ち帰ってください。応援の保護者の方にも必ずゴミは持ち帰るよう監督は連絡をしてください。
- 監督は必ず本部に来て会場責任者、競技責任者から諸連絡を聞いてください。
- 役員の昼食は6月8日、9日加古川会場のみこちらで準備します。

総務委員長 浦上 崇

【競技関係】

- 試合時刻
 - 設定時刻とは試合開始時刻(試合最初のサービス許可の吹笛時)である。
 - 試合開始時刻が設定時刻よりも早くなることはない。
 - 設定時刻の 21 分前から合同練習に入る。前試合がそれよりも早く終われば、チームはコートの使用を認められるが、ボールの使用は認められない。
 - 前試合が設定時刻 21 分前より遅く終われば、ネット計測の後、直ちに 10 分間の合同練習に入る。
 - 試合が連続する場合は前試合終了 60 分後、次試合のプロトコールに入る。(ボールを使用した合同練習はプロトコール 10 分前から)
 - 棄権が出た場合も設定時間は変わらない。次の試合の設定時刻 21 分前までは、次の試合の 2 チームがボールを使用しないでアップ等をしてもらわない。設定時刻の 21 分前から 10 分間の合同練習を行う。
 - 試合に遅れるチームがあれば、公式練習終了後(試合開始時刻)から 15 分待ち、なおコートに現れないときは棄権とする。
 - 合同練習・公式練習は隣コートの試合運営を妨げないよう注意すること。
- 大会試合球・ネット
 - ボールについて
6月1日、2日と8日の近畿大会特別枠4校決定戦は各チームで試合球を用意する。
6月8日の男女5回戦と準々決勝、9日の試合については、県高体連バレーボール部が試合球を用意する。(使用球:男子…モルテン V5M5000, 女子…ミカサMVA300)
 - ネットの高さについて
6月1日、2日のネットの高さは、男子 240 cm, 女子 220 cmとする。
6月8日の男女5回戦、近畿大会特別枠4校決定戦から、ネットの高さは、男子 243 cm, 女子 224 cmとする。
- 選手の服装
 - リベロはチームの他の競技者と対照的な色のユニフォーム(ベースの色を変える。デザインは異なってよい。)を着用しなければならない。リベロが2名いる場合、2名のユニフォームのデザイン・カラーは同じでなくてはならない。
 - ソックスの色と長さは統一されていなければならない(メーカーのロゴなどのわずかな違いは構わない)。

4 構成メンバー

チーム構成員は登録が完了しており、「参加申込書」の18名より14名を選び大会当日提出する「構成メンバー表」の通りでなければならない。

特別の事情によりやむを得ず変更しなければならない場合や「参加申込書」にされたメンバー以外をエントリーする場合は、大会第1日目に提出する「構成メンバー表」をもって変更届がなされたものとする。

ただし、「参加申込書」に**競技者番号(選手ID)がない場合(未登録)**や「参加申込書」に**未記入の選手をエントリーする場合は、大会第1日目までに登録を完了し日本協会が発行する「チーム加入選手一覧」を持参し、「構成メンバー表」に添付しなければならない。**

また、各試合の構成メンバーが13名以上の場合は、必ずリベロを2名登録すること。

5 その他

- 記録用紙に添付するメンバー表の提出は、前の試合の第1セット終了までに本部に提出すること。(第1試合のチームは合同練習開始前に提出)
- 各チーム構成メンバー以外にクイックモッパーとして2名をベンチの両サイドに配置することができる。ただし、構成メンバー以外の場合は他の選手とは異なった服装とし、試合中チームスタッフの仕事はできない。
- 各セットどちらかのチームが13点になった時点で、30秒間の給水タイムをとる。給水タイム中は、選手に対して、ベンチスタッフ(監督・コーチ・引率責任者)からの指示・助言は一切認められない。また、選手のアップは禁止とし、給水と休憩のみ許される。ただし、控え選手のコートのモッピングは認められる。
- 決勝のみ、選手交代用ナンバーパドルを使用する。

競技委員長 増田 光哉

【審判関係】

1 審判員・コートオフィシャル

- 初日・2日目の主審・副審は原則チーム審判担当者が行う。ただし、各会場の事情により運営責任者が審判割当を変更する場合がある。その際は運営責任者の指示に従い、大会運営に協力する。
- 6月8日近畿大会特別枠4校決定戦については、原則当日のゲームに出場するチームの審判担当者が主審・副審を行う。
- コートオフィシャルの担当は、別紙(試合設定時刻の下部文章)を参照のこと。
- 第1試合に棄権が出た場合は第4試合の両チームが第2試合のコートオフィシャルを担当する。第3試合に棄権が出た場合、第3試合のチームは4名を第1試合のコートオフィシャルに出し、残り4名は第1試合の両チームが話し合いのうえ担当する。

2 その他

- 審判・ラインジャッジ等へのチーム関係者からの抗議は、直ちに警告または反則等のカード適用の対象となる。
- ラインアップシートは各セット提出する。シートはセット終了毎に破棄される。
- 選手およびベンチスタッフは、試合中、主審の許可なくコントロールエリア(コート・ベンチ・フリーゾーン・ウォーミングアップエリア)から外れてはならない。
- 監督制限ラインの廃止に伴い、監督はベンチ前のアタックラインの延長からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、ラリー中も立ったまま選手に指示してよいが、選手に対する接触や試合を遅らせる行為などを行った場合、制裁の対象となることがある。

審判委員長 高濱 祐介